

経営協議会学外委員からの意見を法人運営の改善等に活用した主な取組事例

国立大学法人信州大学

【平成22年度】

○ フリーディスカッションの場の設定

平成22年度から，経営協議会の開催時間帯にフリーディスカッションの場を設け，経営協議会学外委員との自由な意見交換を行い，意見を聴取しています。

経営協議会学外委員からの意見は，大学の経営に関する基本方針の決定等に活用しています。

* 第30回経営協議会〔平成22年 6 月 3 日開催〕

事 項	意見聴取の概要 経営協議会学外委員からの主な意見	取組状況
「国立大学法人信州大学組織に関する規則の一部を改正する規則（案）について」（議題 1）	〔概要〕 本法人の情報戦略に関する重要事項を審議する機関として，国立大学法人信州大学情報戦略推進会議を設置することに関し，必要な事項の規定化を図ることについて審議いただく中で，意見を求めました。 〔主な意見〕 ・ 法令改正がまもなく行われ，教育情報の公表を推進していこうという方針が確認されている時期に，信州大学がこういうことを決めるのは非常に良い取組と思う。	特命戦略（情報）担当理事を中心に，本法人の情報戦略及びその推進に関する重要事項について審議する「情報戦略推進会議」を平成22年 6 月に設置し，情報セキュリティ基本ポリシーの策定，ソフトウェア資産管理体制の構築，大学戦略のための学内情報システムの構築等に取り組んでいます。
「平成22年度入学状況について」（報告事項 3）	〔概要〕 平成22年度の入学者選抜状況について報告し，意見を求めました。 〔主な意見〕 ・ 聴講生，科目等履修生，履修証明プログラム等を活用して，実質的に信州大学で勉強したいと思う社会人を受け入れていると思うが，社会人の場合，正規生という形より，むしろ別の形でニーズに応えていただけたらと思っている。	本学における社会人教育の在り方について検討を行い，「社会人教育等に関する提案」と題する提言書をまとめました。 これを受けて，研究科において特別の課程（履修証明プログラム）の開設に向けた準備等を行っています。 なお，平成24年度からは「『ながのブランド食』社会人スキルアップコース」，平成25年度からは「『超微細加工技術』社会人スキルアップコース」の特別の課程（履修証明プログラム）を開設することとしています。

* 第31回経営協議会〔平成22年 6 月25日開催〕

事 項	意見聴取の概要 経営協議会学外委員からの主な意見	取組状況
「第1期中期目標期間における業務実績報告書等について」 (議題2) 「第1期中期目標期間における事業報告書(案)について」 (議題3)	〔概要〕 平成22年6月末までに国立大学法人評価委員会に提出する, 本学の「平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」, 大学評価・学位授与機構に提出する, 本学の「平成20, 21年度中期目標の達成状況報告書」, 学部・研究科の「現況分析における顕著な変化についての説明書」等の各案, 及び本学の「第1期中期目標期間における事業報告書」の案の内容について審議いただく中で, 意見を求めました。 〔主な意見〕 ・ 大学がこれだけやっているということを, しっかり皆にわかってもらわないといけない。ということが書かれており, 何が論点なのかを整理し要約してもらいたい。 また, 説明責任として, 大学としてやっていることを分かり易くまとめて発信するという努力も必要ではないか。 ・ 大学の経営課題として今後確実に予想される問題について, どう対応していくかという問題意識を持ち, 長期的な問題について大いに検討してほしい。	本件に関する社会への公表に際して, 本学Webサイトに評価の仕組みの解説等を加えた「評価・分析室」のページを新たに整備するなど, 分かり易く伝えるための工夫に努めています。 学長, 理事・副学長により組織する「戦略企画会議」を平成22年7月に設置し, 概算要求・学内予算編成, 全学的な教学関係組織改編に関する検討など, 本法人の経営方針, 経営戦略その他重要な経営施策等, 中短期的な課題についての企画立案を行う体制を整え, 第33回経営協議会(H22.11.26開催)において, 同会議要項を基に設置報告を行いました。 また, 長期的な視点に立った経営戦略の推進に当たり, 経営協議会学外委員からの意見を踏まえ更なる展開を図る等の観点から, 以降の経営協議会における開催時間帯にフリーディスカッションの場を設け, 経営協議会学外委員との自由な意見交換を行う機会を増やすこととしました。

＊ 第33回経営協議会〔平成22年11月26日開催〕

事 項	意見聴取の概要 経営協議会学外委員からの主な意見	取組状況
「運営費交付金の縮減と大学運営について」 (フリーディスカッション)	〔概要〕 本法人に係る運営費交付金の推移，外部資金の状況，各種資金の状況から見た本法人が抱える今後の経営課題等について説明し，意見を求めました。 〔主な意見〕 ・ 教育内容と体制について，選択と集中ということを考えて行かざるを得なくなるであろうと思う。 戦略企画会議もこのようなことについて議論するために作られたのではないかと思うが，より現実的に具体的な検討をしていかなければならない。 ・ 学生が増えるのか減るのかを戦略企画会議等でシミュレーションし，タブーに挑戦してみることが大事ではないか。 ・ 知恵を集めて，10年後，20年後はどういう姿になるのか，だから今どういうことをやらなくてはいけないかを検討してほしい。方法論だけ言っても世の中を変えることはできないため，どういう世の中になるのかの想像力が必要である。 せっかく戦略企画会議をやられるようなので，そこで議論を戦わせていただけたらと思う。	意見を踏まえ，平成22年7月に設置した「戦略企画会議」等において検討を進めています。 なお，戦略企画会議の組織的な位置付け等について整備を図り，第33回経営協議会（H22.11.26開催）において報告した戦略企画会議要項を廃止し，平成24年4月1日付けで戦略企画会議規程を施行しました。

＊ 第36回経営協議会〔平成23年 3月28日開催〕

事 項	意見聴取の概要 経営協議会学外委員からの主な意見	取組状況
「本学の研究戦略について」 (フリーディスカッション)	〔概要〕 本法人の第2期中期目標・中期計画期間における研究推進方針，平成21年度までの研究状況分析資料の内容等について説明の上，意見を求めました。 〔主な意見〕 ・ それほど研究費が潤沢であるとは思われない信州大学においては，戦略的には総花的ではなく，どこかあるところに狙いを絞っていく必要があると考える。 漫然と何かやっているということではなく，一度学内できちっと議論されてビジョンを作り上げて，そのビジョンを如何に実現させていくか，こういうアプローチをされては如何か。 ・ 日本において，分子生物学・遺伝学分野に関する信州大学の存在感はものすごい。信州大学がこの分野においてどう注目されているかということです。 ・ 分子生物学・遺伝学分野は大いに売りにすべきです。	意見を踏まえ，研究担当の理事のもとに，鋭意検討を進めています。

○ 大学運営に関する講演会の開催

外部有識者の積極的活用を図る取組の一環として、経営協議会学外委員等、学外における卓越した経営経験、学識経験等を有する有識者をお招きし、教育研究、経営、社会貢献等、多方面に及ぶ大学運営の中から、戦略的運営等に関する事柄をテーマとする講演を聴講することにより、役員等を含む本法人の管理職員の意識啓発や、本法人の戦略的・政策的課題の改善に資することを目的として、平成22年度から開催しています。

役員の他、各部局長、教育研究評議会評議員、課長補佐相当職以上の管理職員を主な受講対象者としており、また、この講演会を聴講した管理職員には、担当理事へのレポート提出を課しています。

管理職員にあっては本法人を運営するための自己啓発に、また、役員等にあっては、本法人の運営方針を検討する上での一助として、各講演者からの意見、提言をそれぞれの立場から活用しています。

大学運営に関する講演会の開催状況

回数	開催日	講演者	演題
1	平成22年6月1日	独立行政法人 大学評価・学位授与機構教授 信州大学経営協議会学外委員 荻上 紘一 氏	「国立大学の戦略的運営—評価の立場を含めて—」
2	平成22年10月12日	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構理事長 丹保 憲仁 氏	「近代後期—環境の時代—」
3	平成23年2月28日	信州大学監事 常本 秀幸 氏	「国立大学の法人化～現在、過去、未来～」
4	平成23年7月29日	ヘルスケアマネジメントパートナーズ(株) 取締役会長 信州大学経営協議会学外委員 大和田 實 氏	「国立大学法人の今後の経営について—変化する環境への対応—」
5	平成23年12月14日	元ボストン・コンサルティング・グループ 日本法人代表取締役 本学大学院経済・社会政策科学研究科イノベーション・マネジメント専攻教授 今村 英明 氏	「チェンジモンスター：変革を阻む怪物たち」